

2022  
TRI HITA  
KARANA  
FORUM  
G20  
Arts

# CONSTELLATIONS GLOBAL REFLECTIONS

G20 パブリックアート展「コンステレーションズ：グローバル・リフレクションズ  
(CGR)」のご案内  
日本代表参加アーティストは平川恒太さん



Kiki Smith "Rising Sea" 2022



Thomas Ruff "Colors of Cloé, 2022





Yinka Shonibare CBE "Earth Kids" 2022



Paola Pivi "I'm a bear, so what?" 2022



"Where Do We Come From? Where Are We Going?-Message Bottle for G20"  
<http://www.constellationsbali.org/artists/Kota%20Hirakawa.html>

インドネシア・バリ島 - Constellations: 21 人の国際的な現代アーティストによるユニークな屋外パブリックアート展「コンステレーションズ：グローバル・リフレクションズ (CGR)」が、2022 年 11 月から 2023 年 11 月までクラクラ・バリ島の 3 カ所で開催されることになりました。

Fung Collaboratives のランス・ファング氏がキュレーションした CGR は、来る B20 (11 月 13 日～14 日)、G20 (11 月 15 日～16 日)、トリヒタカラナフォーラムサミット (11 月 13～18 日) に G20 公式付随イベントとしてプレビューされる予定です。コンステレーションズ グローバル リフレクションズ」自体は、1 年間展示される予定です。

11 月 12 日～18 日にはキュレーターによるプライベートツアーが開催され、11 月 18 日にはバリ島時間 17:00 より、世界の G20 アーティストによる対面・ズーム記者会見が予定されています。また、サミット終了後も一般公開され、予定通り見学することができます。

インドネシアの実業家、慈善家、MoMA 国際評議会メンバーのシェリー・ナーサリムが構想した CGR は、バリ島の首都の中心にある彼女のエコ重視の島、クラクラに設置されています。パブリックアートプロジェクトで知られるファング氏は、ナーサリム氏から展覧会のキュレーターとして招待されました。二人は、バリの織物、ランタン、ワヤン (インドネシアの人形劇) の歴史を統一的なコンセプトとして、気候変動、公平性、グローバルな協力の問題に焦点を当てたインスタレーションを制作することで合意しました。

コンステレーション・グローバル・リフレクションズは、バリの人生哲学である「トリ・ヒタ・カラナ (Tri Hita Karana)」を増幅することを目指しています。この哲学は、神、人間、自然を含むバリ島の人生の最も重要な 3 つの側面を包含しており、幸福と持続可能性に焦点を当てたクラクラの開発の基礎として、この 3 つを位置づけています。

バリ島で製作された 20 のアートワークは、リサイクルプラスチックから作られたテキスタイルにデジタルプリントされ、太陽エネルギーで動く 10 フィートの回転彫刻に組み込まれています。日中も夜間も見えるこれらの彫刻は、静かで敬虔な雰囲気を出し、世界中の人々がアートを鑑賞し、より良い、より強い未来を作るための方法を議論するために集まる道標の役割を果たすことでしょう。

「G20 for Arts」展には、30 歳から 90 歳までの多様で素晴らしいアーティストが参加しています。以下、参加アーティストリストです。

1. トニー・アルバート (オーストラリア)
2. アラフマイアニ (インドネシア)
3. ダナ・アワルタニ (サウジアラビア)
4. シュー・ビン (中国)
5. ベルカイ・ブグダン (トルコ)
6. ジュヌヴィエーヴ・カデュエ (カナダ)
7. ミネルヴァ・クエバス (メキシコ)
8. N・S・ハルシャ (インド)
9. 平川恒太/Kota HIRAKAWA (日本)
10. イリヤ&エミリア・カバコフ (ロシア・ウクライナ)

- 1 1. ナレディ・チェゴファツソ・モデュピ (南アフリカ)
- 1 2. A. D. ピロス (インドネシア)
- 1 3. パオラ・ピヴィ/Paola Pivi (イタリア)
- 1 4. リリアナ・ポーター/Liliana Porter (アルゼンチン)
- 1 5. カイロ・レゼウィック/Caio Reisewitz (ブラジル)
- 1 6. トーマス・ルフ (ドイツ)
- 1 7. インカ・シニョバレ/Yinka Shonibare CBE (イギリス)
- 1 8. キキ・スミス (アメリカ)
- 1 9. キム・ソージャ (韓国)
- 2 0. ベン・ヴォーティエ/Ben Vautier (フランス)。

フォローは [@constellationsbali](https://twitter.com/constellationsbali) 又はウェブサイト <http://www.constellationsbali.org> から。

## 展覧会共同主催者

### ユナイテッド・イン・ダイバーシティ(UID)

UID は、2003 年に MIT スローン経営大学院、インドネシア大学、GT グループシナルハラパンと共同で設立した非営利の教育フォーラムとしてスタートしました。UID は、3 つのセクターのリーダーが、地域の最大の課題に対する持続可能な解決策を生み出し、実行することを支援しています。

[www.unitedindiversity.org](http://www.unitedindiversity.org)

### クラクラ・バリ

クラクラバリは、バリのブランディングを活用した幸福と投資プロジェクトやコラボレーションのために、未来の島を大胆に描くために生まれ開発された 500 ヘクタールのキャンパスです。1930 年代に設立されたギティ・グループが、プロジェクト開発者です。 [www.kurakurabali.com](http://www.kurakurabali.com)。

### 持続可能な開発のためのトリ・ヒタ・カラナフォーラム(THK)

トリ・ヒタ・カラナフォーラムは、ユナイテッド・イン・ダイバーシティ財団、B20、国連持続可能な開発ソリューションネットワークが、多くの著名なパートナーの支援を得て共同で開催する G20 のための卓越したサステナビリティ・サイドイベントです。2022 年のトリ・ヒタ・カラナフォーラムのテーマは、「インドネシア、地域、そして世界の持続可能で包括的な復興に向けた変革的なシステム変更ソリューションを引き出すための未来の知識と混合金融」 [www.thkforum.org](http://www.thkforum.org)。

### Fung Collaboratives について

Fung Collaboratives は、大小のパブリックアートの展覧会をキュレーションし、実現するアート組織として、国際的に活動しています。社会的な問題に焦点を当て、著名なアーティストや若手アーティストとのコラボレーションを行っています。Fung Collaboratives のキュレーションアプローチは包括的で楕円形であり、しばしば予期せぬものを世界中のオーディエンスにもたらす。 [www.fungcollaboratives.org](http://www.fungcollaboratives.org)。

### プレス連絡先

Dan Schwartz

[danschwar@gmail.com](mailto:danschwar@gmail.com)